

syoun 絆

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院



理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療

患者の人權と意思を尊重します

診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア

地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成

地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

日本口腔ケア学会「口腔ケア認定施設」に認定されました



超高齢化社会と突入している本邦においては疾患が多様化し、複数の疾患を抱えながら生活を送っている方が多くなっています。死因別死亡率をみますと第1位が悪性新生物、第2位が心疾患、第3位が脳血管疾患となっています。これらの疾患はいずれも口腔内細菌と密接に関連していることが、近年明らかになってきています。すなわち、口腔内の環境がよくなければ糖尿病をはじめ、感染性心内膜炎や虚血性心疾患、脳血管疾患などの増悪因子となり得ます。また、要介護高齢者の口腔環境が不良であれば誤嚥性肺炎のリスクが高まる事が分かっています。よって、健康寿命を延ばす為には口腔衛生状態の改善と口腔機能の向上が必要であり、適切に管理していく事が重要であります。

また、がん治療においては周術期の合併症が問題になってきます。口腔に関連する周術期の合併症としては術後肺炎、挿管時の歯の損傷、創部感染、化学療法に伴う口腔粘膜炎症、菌性感染、薬剤関連顎骨壊死など様々な事が生じます。これらの口腔有害事象が出現すると、がん治療の一時的な中断せざるを得ない場合があります。このような事に悩

まされることなくがん治療に取り組む為には、治療を開始する前から歯科介入を行い、口腔内の環境整備（周術期等口腔機能管理）を行っておく事が重要となります。

このように口腔管理や口腔ケアは、単に歯や歯ぐきのためだけではなく、生活援助に加えて全身疾患の予防など、生命の維持・増進に直結したケアになります。

我々は口腔の疾病予防、健康保持・増進、リハビリテーションによるQOLの向上を含む口腔ケアを高いレベルで提供できるようにスタッフ全員が日々、勉強を重ね、最新情報が得られるようにアンテナを張り巡らせており、日本口腔ケア学会総会や関連学会への積極的な参加や発表を重ねると共に、口腔ケア認定試験の合格者を増員している所です。今回、これらの活動が実を結び当院は2020年4月に日本口腔ケア学会の「口腔ケア認定施設」に認定された事をご報告させていただきます。今後も引き続き、口腔の健康を通じて、疾病予防ができるように精進していきたいと考えています。

歯科口腔外科 野村 昌弘

新型コロナウイルス感染症 当院での取り組み

～第2波、第3波に備えて～

5月25日新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の緊急事態宣言の全面解除となりました。しかしながら、世界的に見ても緊急事態宣言や外出自粛を解除され経済活動が再開された諸国で、再び集団感染の報告などもあり、今後、わが国でも第2波、第3波が来る可能性もあり、医療機関等では予断を許さない状況が続く現状です。当院でもそのような有事に備えて、診療スペースの確保やエアートント等の準備やマスク・ガウン等の備蓄確保を行なっています。また、5月27日には人吉下球磨消防組合と協働で新型コロナウイルス感染症の患者を搬送する場合の人工呼吸器の取り扱いに関する訓練を実施しました。人吉下球磨消防組合の救急隊や当院の医師、看護師をはじめ、その他関係スタッフの約15名が参加し、実際の搬送を想定して、人工呼吸器の取り扱いなどについてシミュレーションを行い、機器の取扱いを確認し、

共通理解を深めました。このような取り組みを通して、当院でも保健所と連携を取りながら対応を検討していきたいと考えております。

また、当院の病棟の面会制限につきましても引き続き継続の方針です。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。受診などで当院を来院される際には、マスクの着用や手指消毒の徹底を重ねてお願い申し上げます。

感染管理認定看護師 別府 るみ



COVID-19 禍におけるご寄贈をいただきました

昨年末から続く COVID-19 禍において、各方面の方より多くの寄贈をいただいております。感染のリスクを負いながら生活必需品を販売される方、工場や流通に携わる方、24時間体制で相談を受けられている行政の方、そして厳しい状況を工夫しながら乗り越えようとして取り組まれている多くの方に支えられていることを忘れずに、皆さまからの温かいご支援に心よりお礼申し上げます。

深野酒造株式会社様



消毒用アルコール 30本
【FUKANO77】

合資会社 鳥越商店様



飲料製品 5 ケース

日本コカ・コーラ株式会社様



飲料製品 80 ケース

エムサービス株式会社様
三井農林株式会社様



飲料製品 15 ケース
コーヒー 198 袋

合資会社 大和一酒造元様



消毒用アルコール 12本
【THANKS TO BLUE77】

一般社団法人隠れ里ひとくまツリズム様（代表理事：樺木徹郎様）



マスク 500 枚

株式会社 伊藤園様



株式会社 伊藤園様
飲料製品 23 ケース
煎茶ティーバッグ 6000 本

おばた胃腸科内科クリニック様
（山口県下関市）（小畑 伸一郎様）



フェイスシールド 30 枚

人吉市在住 田中様



マスク 300 枚

株式会社 田代合金所様（東京都台東区）



防塵マスク 60 枚

当院で有効活用させていただき、安心・安全な医療が提供できるよう努めてまいります。

患者サポートセンター

患者サポートセンターでは、病気やケガなどによって生じる様々な不安や悩みをお持ちの患者さん、ご家族の方のご相談をお受けしております。例えば、通院や入院はどのようにしたらよいのだろうか、医療費はどれくらいかかるのだろうか、介護の制度を知りたい、など、医療に関するどんな事でも構いません。これらは、病気やケガを経験すると、多くの方が抱えられる不安や心配事ではないでしょうか。

当院では、看護師、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士、臨床心理士など多職種によるサポート体制を活用し、地域の医療機関や介護・福祉施設とも連携しながら、安心して治療を受けられるよう、また、早めの社会復帰ができるよう問題解決に向けて支援しております。

【医療・看護相談】

- ・病気の説明を聞いたが、よくわからなかった
- ・不安が強く、気分が落ち込む など

【受診相談】

- ・どの診療科を受診したらよいか分からない
- ・家族の付き添いはどうしたらよいか など

【福祉相談】

- ・治療費やこれからの生活費が心配
- ・介護保険の申請方法がわからない など

【がん相談、セカンドオピニオン等】

- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・治療方法について聞きたい など

その他、ご意見やご要望も併せて承っておりますので、どうぞご利用ください。なお、予約は必要ありませんので、開設時間内にお気軽にお越しください。

【開設時間】 8:30～17:15

【場 所】 1階問診カウンター横 患者サポートセンター



住民の皆さん、地域在宅医療サポートセンターをご存知ですか？

地域在宅医療サポートセンターとは…

在宅医療の量・質両面の取組みを県内全域で推進するため、県内の医療機関等を在宅医療サポートセンターとして指定されています。各地域の在宅医療サポートセンターを中心に、必要な医療の提供体制づくり、マッチング、医療機関の連携促進、関係専門職の人材育成、県民への普及啓発等を行っています。当院も昨年2019年3月27日に熊本県より人吉圏域における地域在宅医療サポートセンターの指定を受けて、1年が経過しました。

当院での昨年の取り組み

昨年度は、ACP（アドバンスケアプランニング）の普及活動を目的にACPシートを作成・広く周知し、院内スタッフが演じるACPの寸劇の実施や医療・福祉関係者向けにACP研修会の実施をしました。11月30日の人生会議の日になんで、行政と協働で地域住民向けにACPシートの案内や相談、特別講演を行いました。また、町内会などへ出前講座の実施等も行いました。また、くまもとメディカルネットワークの参加者拡大及び利用施設拡大に向けた取り組みを行いました。

今年度の取り組み

今年度もACP（アドバンスケアプランニング）の普及活動に力を入れていく考えです。しかし、新型コロナ

ウイルスの影響で昨年のように積極的に研修会やイベントを実施することは難しいですが、実施方法などを工夫しながら、継続して取り組んでいく考えです。

在宅医療についてやACPについてもっと知りたい等ある方は、是非お気軽にご相談下さい。



ACPシート



寸劇風景

球磨地域在宅医療サポートセンター
人吉医療センター 医療福祉連携室 田頭 隼人

研修医挨拶



生まれも育ちも福岡、久留米大学を卒業してやってきました笹栗誠です。4月から2年間人吉医療センターでお世話になります。

「人吉はとんでもない田舎だけど、人は良しよ」という触れ込みでやってきました。コロナショックで家と病院の往復をしていないのであまり田舎という実感がありませんが、スタッフの皆さん・患者のさんの優しさは甚く感じております。

美味しいお店がたくさんあったり、自然がたくさん、野菜が安い、観光列車がたくさんある、鍛冶場の包丁屋さん、HITOYOSHIシャツなど、人

吉ならではの良さを感じています。

初めての一人暮らしで不安でしたが、自炊も頑張り1ヶ月経って慣れてきました。

2年間という短い期間ではありますが、初期研修はこれからの医師人生の基礎をつくる最も大切な時間だと考えています。ここで得られる機会と経験を大切に頑張りしたいと思います。

よろしくお願いします。

臨床研修医 笹栗 誠



4月から2年間人吉医療センターで研修をさせていただくことになりました、津山恭佑と申します。大学は宮崎大学で、少し時間がかかりましたがなんとか医師としてのスタートを切ることができました。出身は球磨郡ですので地元に戻ってきた形になります。地元での研修ということで、高齢化の進んでいるこの人吉球磨地域の医療のニーズを把握して少しずつ地域の医療に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。現在は総合診療科や救急科をまわらせていただいております。救急医療に

関しては宮崎、鹿児島、鹿兒島の県境ということもあって、非常に広い範囲から患者さんがいらっしゃいますが、上級医や他のスタッフの方々ともコミュニケーションをとって日々の診療をこなしていきたいと思っております。まだまだ未熟な部分が多いですが、初心を忘れずに励んでまいりますので皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくおねがいいたします。日本中が新型コロナウイルスで大変な昨今ですが、皆様が健やかに過ごされますようお願いしております。

臨床研修医 津山 恭佑



こんにちは！沖縄出身、宮崎大学卒業の石川裕隆と申します。沖縄のビーチで亀を助けた記憶はないのですが、宮崎という竜宮城で気づけば10年の月日が流れていました。我に返り、どうにか卒試・国試をぐり抜け、人吉医療センターに拾って頂きました。快諾して頂いた院長の木村先生、3月末の多忙な時期に手続き等して頂いた事務の方々ありがとうございます。

学生時代は硬式テニス部に所属し、お酒は弱いのに飲み会に参加し企画し、グルメな友達のカバン持ちで食べ歩き、それを支えるバイト生活、1週間でフラれたり、面白いメンバーに囲まれてバカしました

が、こんな学生に目をかけて下さる先生や先輩、仲良くしてくれる同期や後輩に恵まれて、山あり谷あり笑いあり涙ありの学生生活を送ることができました。

ようやく辿り着いた医師としての1年目、社会人としての1年目ですが長期化した学生生活の影響か、学生気分が抜けてないなど自分でも感じる点が多々あり、皆様にご迷惑をおかけする場面もあるかと思っております。人吉の医療に貢献する一員として微力ながら精進する所存ですので何卒、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

臨床研修医 石川 裕隆



4月から人吉医療センターで臨床研修をしています。研修医の中村です。私は熊本大学の協力型プログラムの一年目でこちらにきました。大学では部活に入らず多少勉強したら家に帰ってネットとゲームばかりでぐうたらな自堕落生活をしてきました。笑

ですので国家試験には合格したものの4月から社会に適應できるのか不安でビクビクしていました。ただ医療センターの先生方、スタッフの皆さんのおかげで今のところどうにかなっています。一年目なので

業務を覚えていくのに精一杯ですが、なるべく早く基本的な業務と救急の初期対応ができるようになるのが今のところの目標です。それとコミュニケーション能力が低いので早急に改善して業務に支障をきたさないようにしていこうと思っております。まだまだ先生方にはご迷惑をおかけすることがあると思いますが、出来る限り早く臨床能力を身に付けられるよう努力するのでよろしくお願いいたします。

臨床研修医 中村 太一

超音波診断装置が増台されました

2020年3月末に超音波診断装置(フィリップス社製のEpiQ7G)が新たに1台導入されました。EpiQ7Gは腹部・乳腺甲状腺・血管など全ての分野の検査が可能です。主に心臓超音波検査に使用しています。従来の超音波診断装置で評価できる項目に加え、右心系の評価がより詳細にでき、さらに3Dでの評価も可能となりました。3Dの評価では立体的に画像を構築することで、左室重量と容量の測定や弁膜症の評価もより正確に行うことが可能となりました。また、自動計測も特徴のひとつです。的確な画像の描出ができれば、以前より短時間で且つより精密な評価ができるようになりました。



これまで心臓超音波検査は1台での稼働だったため、待ち時間が長くなっていました。今回1台増えたことで外来診察室B-1に加え、B-2も心臓超音波検査室として増設しました。これからは2台体制で心臓超音波検査を行いますので待ち時間が緩和されると思います。

臨床検査部 横田 芙蓉子

おしらせ 入退院サポートセンターが移動しました！



入退院サポートセンターが本館2階自動精算機横に移動しました。部屋の東側に大きな窓があり、窓から差し込む太陽の光は、生命の象徴で元気の源です。

この部屋の持つ効果と患者・家族の持つ力の相乗効果で疾患、治療、入院など受け止め受け入れ、前向きにとらえることができるようにサポートしていきます。

入退院サポートセンター 山下 ルミ

愛されて15年 院内ボランティア 梶原 章子さん レクレーション活動にご尽力いただきありがとうございました！



ボランティア 梶原 章子さんよりメッセージ

振り返れば、レクレーションをお受けしてから15年を迎え、この長い年月気がつくと、私の生活の一部になっていました。やりがいのある仕事に惹かれながら、勤しんでまいりましたが、あつというまの15年、年齢とともに疲れを感じます。お名残惜しいのですが、今回を最後にいたします。

Avec les vouxles moillurs pour
《ともに寄り添っていただきましたこと
まことにありがとうございました》

Bien coldia le ment,
《心より 感謝を込めて》



当院では、人吉総合病院の頃から院内レクレーション（カラーペインティング、アロマセラピーなど）を開始し、当初より梶原 章子さんにはボランティアとして活動していただきました。

天候が悪い時も病氣やけがをされた時も、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」のごとく、待っている方がいるからと、必ず出てきてくださりました。レクレーションでは、参加された皆さん集中して取り組まれ、最後には笑顔で帰られていました。患者さん同士のふれあいの場となり、癒しの場となっていました。

また、院内レクレーションの記録として、毎年たくさんの写真とイラストとお言葉を添えて『ふれあいの記』と『写真集ふれあいの日』を作成していただき、毎回楽しみに読ませていただきました。今回も令和2年を迎え、令和元年『ふれあいの記』と『写真集ふれあいの日』をまとめていただいております。

15年と長きにわたり、院内活動にご尽力いただき、本当にありがとうございました。

梶原さんの益々のご活躍をお祈り申し上げます。

医療福祉連携室

アロマの楽しみかた

新型コロナウイルスの影響で、お店ではマスクやガーゼ、消毒用のアルコールなどいろんな商品が品薄になっています。病院内でもマスクの使用枚数が制限され、私たちが勤務している産科病棟では、赤ちゃんの保育器管理をする際のエプロンやキャップも不足しており、感染予防に細心の注意しながら勤務しています。

アロマセラピーのメカニズムは皆さんもご存じと思いますが・・・五感の中で唯一脳にダイレクトに伝わるのが「嗅覚」で、香りの分子を嗅覚がキャッチして感情や本能を司る『大脳辺縁系』や自立神経系を司る『視床下部』にその情報が伝わり、体温や睡眠、免疫機能などのバランスを整えてくれます。

熊本地震から4年が経ちましたが、熊本市の産後ケア施設でのボランティア活動で余震の恐怖におびえながら過ごした夜も、緊張や不安でいっぱいだった時もアロマがお母さんたちの気持ちを和らげてくれた事を思い出します。きっとコロナ禍でも、香りが私たちの助けになると思います。

外出自粛生活が続いていますが、体調管理を行い乗り切りましょう。

今回は自宅でも作れるマスクスプレーをご紹介します。

マスクスプレーの材料は（無水エタノール5ml 精油5滴 精製水45ml）無水エタノール（ジンやウォッカでも代用可）に精油を入れ混ぜる⇒精製水を入れスプレー容器に移して完成です。

精油はレモン・オレンジ・ペパーミント・ユーカリ・ティートリーなど自分の好きな香りやスッキリした香りが使いやすいと思います。

※コロナ感染を予防する効果はありませんが、疲れたり、少し気分が落ち込んだとききつとアロマの香りに癒され元気が湧いてくると思います。お試しください。

※直接皮膚に当たらないように注意してください。（マスクの外側に2～3回スプレーしましょう）

※2週間を目安に、可能な限り早めにご使用ください。

9階病棟助産師 AEAJ アロマインストラクター・セラピスト
矢立 智春

連携施設
探訪

当院では、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。

今回は、「ニチイケアセンターにしき東方」(熊本県球磨郡錦町大字一武 1652 番 1) さんです。

ニチイケアセンター ^{ひがしかた}にしき東方 Vol.34

【施設の特徴】

これまでの生活を出来る限り継続し、自宅と住み慣れた地域で暮らし続けることを支援していくサービスです。

1日24時間の生活を送るうえで、必要とする部分を訪問サービス・通いサービス・宿泊サービスを組み合わせ、ご本人の生活をサポートしていきます。本人の在宅生活を想定した支援を行うとともに、家族へのアドバイスを含め、自立した生活を送れるようお手伝いいたします。

【訪問サービス】

小規模多機能型居宅介護での「訪問サービス」では、「通いサービス」では支えきれない時間帯や内容を必要ときに必要な量の支援ができるということです。時間単位で決められた枠の中で行うサービスではなく、服薬管理のための数分の訪問や、お互いの関係づくりを目的とした長時間の訪問も認められています。枠にとらわれない支援が可能であり、自宅での緊急時には即、訪問することができます。安否確認や夏場ではエアコンの温度調整などの短い時間でもご自宅へ伺うことができます。また24時間訪問対応可能で必要に応じ、夜間の訪問も行っています。

【通いサービス】

一人ひとりの思いや暮らし方(生活スタイル)にあわせて、そのお客様の自宅での一日を思い描いた上で、必要なことだけを、「通い」を通して提供していきます。例えば、朝から夕方まで滞在するのではなく、その人が必要としているお風呂だけ、食事だけといったほんの数時間の利用という使い方となります。

【宿泊サービス】

ご登録されているご利用者様は当施設へ宿泊できる、「宿泊サービス」を必要な時に利用することができます。

通いサービスにて通い慣れた場所で、顔なじみのスタッフや他のご利用者様と安心した環境で、泊まることができます。また、ご本人の状況を良く知っているスタッフが、緊急時にも臨機応変に対応できるため、いざというときの強い味方になります。



【対象者】

要支援1-要介護5の認定を受けている、錦町に住民票のある方

【サービスの内容】

登録定員24名

通いサービス 定員 12名/日(利用可能時間:6時~21時)

訪問サービス 定員 登録者全員が利用可能(利用可能時間24時間)

宿泊サービス 定員 6名/日(利用可能時間:21時~6時)

※各サービスにて健康チェック、入浴、食事、排泄、生活援助、機能訓練等のサービスを実施しています。

【地域の皆様に一言】

ご本人がいつまでも自宅で生活できるサービス提供に努めています。小規模多機能は通い・訪問・宿泊を組み合わせる事で、自宅での生活を続けられるよう、様々な方法、様々な角度から支援できるサービスです。ご本人が望む生活を実現できるよう担当者が事例を紹介し、提案いたします。話だけでも聞きたいということでも構いません。是非ご相談ください。

【お問い合わせ】

TEL:0966-34-5022 FAX:0966-34-5023 窓口担当:石塚

【訪問者の感想】

24時間対応可能な訪問(サービス)で、本人のライフスタイルに合わせてサービスを組み込み、在宅生活を支援していただけたところがとても魅力的でした。自分のライフスタイルに合わせて支援をしていただけるので、自分らしく、住み慣れた地域(自宅)での生活ができるため、利用される方にとって、とても頼りになる施設だと感じました。

クールビズ

当院では5月1日(金)~10月31日(土)、一層の省エネルギー推進のため、執務中の服装について暑さをしのぎやすい軽装(ノーネクタイ・半袖シャツ・ポロシャツ等)を励行しております。クールビズ活動へのご理解とご協力をお願い致します。



新任紹介



のうえ しんいち
野々上 真一 (医療福祉連携室・医療社会事業専門員)

趣味: ジョギング、読書、野球
好きな言葉: 温故知新

自分の性格: マイペース

自分のコマーシャル: 日々の積み重ねを意識して頑張りたいと思います。よろしく願い致します。



しば しおり
芝 旨織 (総務企画課・事務助手)

趣味: 子供たちとお散歩したり、料理をしたりすることです

長所: 笑顔と明るいところ

自分のコマーシャル: 今までしていた職種とは違うものになりますが、しっかり仕事を覚えて、様々な知識を取り入れながら頑張りたいと思っています。

